

# “痛み”を伴う疾患の診断・治療を専門に行う診療科

## ペインクリニックの治療について



お答え  
古城クリニック  
古城 繁院長

■プロフィール 昭和33年4月生まれ。昭和59年岡山大学医学部卒。平成7年～19年、福山光南病院勤務。平成19年、古城クリニック開院。麻酔科標榜医、日本麻酔科学会麻酔科専門医  
＜メモ＞ ☎084(971)7335(野上町3-6-3)  
<http://www.kojou.jp/>

「古城クリニック」の古城繁院長に、「ペインクリニック」の治療について聞きました。

Q ペインクリニックとは何ですか。

A 指を切って痛い、胃潰瘍でおなかが痛いなど、痛みは体の異常を知らせる警告の役割を果たしています。こうした痛

みがあるから私たちは、けがや病気に気付き、危険を回避できます。

普通、治療はこの痛みの原因に対して行いますが、「痛み自体」が問題となる病気もあります。そんな痛みそのものを取り除くのが、疼痛(とうつ)のうち専門外来(ペインクリニック)です。痛みの

診断を行い、神経ブロックという手技と、内服・理学療法を組み合わせ治療を進めます。

Q 神経ブロックとは

どういふものですか。 A ブロックとは神経の働きを一時的に遮断するという意味です。痛みの悪循環を断つことで血流が低下すると、浮腫や痛みを強くする発痛物質が蓄積します。これが痛みをさらに増強させる「痛みの悪循環」で、頑固で強い症状の原因となります。神経ブロックは、使用する局所麻酔薬

し、知覚神経と交感神経の両方をブロック。効果は1時間程度ですが、痛みの悪循環を断つことで血流が低下すると、浮腫や痛みを強くする発痛物質が蓄積します。これは体が回復しているか

知覚神経をブロックして痛みを和らげ、血管を収縮させる交感神経をブロックすることで血流を良くし、痛みの悪循環を遮断、自己回復を促すのが目的です。

例えば硬膜外ブロックは、効果の期待できる所

は、硬膜外腔まで細い針を挿して局所麻酔薬を注入

は、副作用も少なく、痛みを和らげ、血管を収縮させる交感神経をブロックすることで血流を良くし、痛みの悪循環を遮断、自己回復を促すのが目的です。

例えば硬膜外ブロックは、効果の期待できる所

は、硬膜外腔まで細い針を挿して局所麻酔薬を注入

は、効果の期待できる所

は、効果の期待できる所

は、効果の期待できる所

### ペインクリニックの対象となる主な病気

- ①腰痛、足の痛みやしびれ＝腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊髄管狭窄症、変形性腰痛症、ぎっくり腰など
- ②首の痛み、手の痛みやしびれ＝頸椎(けいつい)椎間板ヘルニア、頸椎症など
- ③慢性頭痛、肩凝り、膝や肩の痛み
- ④帯状疱疹(ほうしん)や帯状疱疹後神経痛など
- ⑤三叉(さんざ)神経痛、舌咽神経痛
- ⑥その他＝顔面神経麻痺(まひ)、眼瞼痙攣(がんけんけいれん)など

を飲んでいる方はブロックができない場合があるため、必ず「お薬手帳」持参で受診してください。